



2025年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズホールディングス

コード番号 2792

URL <https://www.honeys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江尻 英介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 成展

(TEL) 0246-29-1111

定時株主総会開催予定日 2025年8月26日

配当支払開始予定日

2025年8月12日

有価証券報告書提出予定日 2025年8月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期の連結業績(2024年6月1日~2025年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期	57,701	2.0	5,906	△15.3	5,989	△17.7	3,732	△23.5
2024年5月期	56,571	3.1	6,970	△9.1	7,281	△9.2	4,876	△8.6

(注) 包括利益 2025年5月期 1,424百万円(△74.5%) 2024年5月期 5,577百万円(35.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年5月期	133.92	—	8.3	11.3	10.2
2024年5月期	175.01	—	11.4	14.1	12.3

(参考) 持分法投資損益 2025年5月期 一百万円 2024年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期	52,997	44,706	84.4	1,603.84
2024年5月期	52,839	44,799	84.8	1,607.74

(参考) 自己資本 2025年5月期 44,706百万円 2024年5月期 44,799百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年5月期	4,918	△2,264	△1,532	13,355
2024年5月期	2,133	△4,203	△1,533	12,863

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年5月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,532	31.4	3.6
2025年5月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,533	41.1	3.4
2026年5月期(予想)	—	25.00	—	30.00	55.00		—	

3. 2026年5月期の連結業績予想(2025年6月1日~2026年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,600	0.4	3,200	△2.9	3,200	△3.8	2,100	1.0	75.33
通期	59,000	2.3	6,200	5.0	6,200	3.5	4,000	7.2	143.49

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年5月期	27,900,000株	2024年5月期	27,900,000株
② 期末自己株式数	2025年5月期	25,223株	2024年5月期	35,119株
③ 期中平均株式数	2025年5月期	27,871,980株	2024年5月期	27,864,979株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年5月期の個別業績(2024年6月1日~2025年5月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期	39,664	10.1	5,352	55.6	5,365	56.8	4,250	86.7
2024年5月期	36,023	3.1	3,440	2.2	3,421	1.7	2,276	3.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年5月期	152.50		—					
2024年5月期	81.70		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年5月期	49,362		40,171		81.4	1,441.12		
2024年5月期	49,724		38,239		76.9	1,372.32		

(参考) 自己資本 2025年5月期 40,171百万円 2024年5月期 38,239百万円

2. 2026年5月期の個別業績予想(2025年6月1日~2026年5月31日)

個別業績予想につきましては、2017年3月1日より持株会社に移行しており、投資情報としての重要性が大きくなると判断されるため、記載を省略しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、次頁以降の添付資料をご覧ください。

・当社は2025年7月8日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
販売の状況 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復傾向となりました。一方、原材料高やエネルギー価格、為替変動などの影響もあり、食料品や生活必需品を中心とする物価上昇の継続が消費者マインドを下押しするなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。婦人服専門店業界においては、原材料高や円安水準の継続等による仕入コストの上昇により、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは高いアセアン生産比率を維持し、「高感度・高品質・リーズナブルプライス」をキーコンセプトとして掲げ、お客様視点による「高品質な商品、丁寧な接客、居心地の良い店舗」の実現に努めました。また、お客様のニーズに対応した商品企画、自社ECサイトのパフォーマンスやユーザビリティの向上を継続したほか、SNS等を活用した集客・販促活動を積極的に展開しました。

当連結会計年度の経営成績は以下のとおりです。

	2024年5月期 連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	2025年5月期 連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	増減	増減率
売上高 (百万円)	56,571	57,701	1,129	2.0%
営業利益 (百万円)	6,970	5,906	△1,064	△15.3%
経常利益 (百万円)	7,281	5,989	△1,292	△17.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	4,876	3,732	△1,144	△23.5%

連結店舗数 (店舗数)	876	872	△4	△0.5%
-------------	-----	-----	----	-------

当連結会計年度におきましては、売上高577億1百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益59億6百万円（同15.3%減）、経常利益59億89百万円（同17.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益37億32百万円（同23.5%減）となりました。

売上高につきましては、残暑や気温の寒暖差に合わせた売場づくりに努め、お客様の需要に沿った商品を適時に提供するとともに、商品の品質向上と適正な価格への見直しを随時実施したことで、前年同期比は増収となりました。

EC事業は在庫の充実を図り、EC限定商品の販売など好調に推移しました。また、ユーザビリティの改善に努め、ECサイト内の回遊率など向上を図ったことで自社ECサイトを中心に伸ばしました。

収益面につきましては、引き続きEC事業が伸ばしたことや、価格見直しを適宜実施したほか、適切な商品投入や在庫コントロールに努めました。また、高いアセアン生産比率を維持し、ミャンマー子会社での生産を有効に活用して安定した商品供給を実施しましたが、原価上昇の影響に加え、気温の寒暖差の影響や物価上昇による消費者の節約志向の根強さもあって商品消化を進めた結果、売上総利益率は59.2%（前年同期比1.1ポイント減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、282億44百万円（前年同期比4.1%増）と増加し、販管費率は49.0%（前年同期比1.0ポイント増）となりました。人件費は、概ね計画どおりの進捗となりましたが、給与のベースアップ等で増加しました。店舗費は、主に売上増加に伴う店舗使用料や販促活動に基づくWEB広告費などが増加しました。その他経費では、主にEC商品発送費用やキャッシュレス決済の利用増加に伴う手数料等が増加しました。

以上の結果、売上高は増収となりましたが、売上総利益率の低下に加え販売費及び一般管理費が増加したことで、減益となりました。

店舗展開につきましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当連結会計年度末における国内店舗数は872店舗となりました。

当社グループは、「日本」の単一報告セグメントでしたが、報告セグメントに含まれない「その他」の区分であったミャンマー現地法人（Honeys Garment Industry Limited）の重要性が増したため、当連結会計年度より報告セグメントとして記載しております。なお、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

なお、売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の取引を消去する前の金額によっております。

<日本>

日本における売上高は577億1百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は60億37百万円（同15.7%減）となりました。気温に合わせた売場づくりやお客様の需要に沿った商品を適時に提供してまいりましたが、年間を通じて気温の寒暖差に影響されました。適正価格への随時見直しや、EC事業が引き続き伸長したことで前年同期比は増収となりましたが、仕入コストの増加が影響したこともあって減益となりました。

<ミャンマー>

ミャンマーにおける売上高は17億70百万円（前年同期比0.8%減）、営業損失は54百万円（前年同期は営業損失3億67百万円）となりました。引き続き安定的な生産と商品供給に努めました。

## (2) 当期の財政状態の概況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べて、1億58百万円増加して529億97百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億92百万円、売掛金が6億62百万円、棚卸資産が1億3百万円、物流センター増築等にかかる建物及び構築物が12億61百万円、繰延税金資産が3億56百万円それぞれ増加し、為替予約が11億70百万円、建設仮勘定が16億70百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べて、2億51百万円増加して82億90百万円となりました。これは主に、買掛金が2億70百万円、資産除去債務が2億54百万円それぞれ増加し、契約負債が2億18百万円減少したこと等によるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、92百万円減少して447億6百万円となりました。これは主に、利益剰余金が21億99百万円増加し、繰延ヘッジ損益が8億16百万円、為替換算調整勘定が16億9百万円それぞれ減少したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は84.4%となり、安定した財務状態を維持しております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて4億92百万円増加し、133億55百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、49億18百万円（前連結会計年度比130.5%増）となりました。

これらは、税金等調整前当期純利益が56億62百万円（同20.5%減）、減価償却費が13億36百万円生じた一方で、法人税等の支払額19億50百万円、売上債権の増加6億62百万円により、資金が減少したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、22億64百万円（同46.1%減）となりました。

これらは、新規出店及び改装のほか、物流センター増築等に伴う有形固定資産の取得として19億91百万円を支出したことにより、資金が減少したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億32百万円（同0.0%減）となりました。

これらは、配当金の支払額15億32百万円により、資金が減少したことが主な要因であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
自己資本比率 (%)	82.7	81.1	81.3	84.8	84.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	64.6	63.5	81.2	87.2	80.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	4,160.8	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、我が国経済は雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかな回復が続くと期待されるものの、継続的な物価上昇による消費者の節約志向の高まりが個人消費を下押しする影響などのリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続くと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは、高いアセアン生産比率を最大限に活用することで「高感度・高品質・リーズナブルプライス」を基盤とするグループの強みを活かした魅力ある商品づくりを継続していくとともに、多様化する需要や幅広い年齢層のお客様へ訴求してまいります。

また、適正価格の追求や付加価値の探究を継続していくとともに、店舗の立地環境や特徴に沿った柔軟な商品投入と適切な在庫管理にも努めてまいります。

そのほか、環境へ配慮した素材等の採用にも取り組み、サステナブルな社会へ貢献していくほか、従業員の処遇改善や人材確保・育成を通して従業員満足の向上にも努めてまいります。

EC事業においては、更なる売上拡大を目指し、店舗との相互送客や販売機会のロス軽減などOMO戦略を強化し、店舗受取のサービス向上や自社ECサイトのユーザビリティ改善等を継続していくほか、WEB広告やSNS等を活用した情報発信にも力を入れ、新規会員の獲得と既存会員の深耕を図ってまいります。

これらにより、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高590億円（当連結会計年度比2.3%増）、営業利益62億円（同5.0%増）、経常利益62億円（同3.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益40億円（同7.2%増）を見込んでおります。

また、当社グループは、2028年5月期を最終年度とする新たな中期経営計画（2026年5月期－2028年5月期）を策定いたしました。その内容については当社ホームページに掲載しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当連結会計年度 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,863,043	13,355,934
売掛金	3,851,625	4,514,550
金銭の信託	545,274	533,923
棚卸資産	10,745,732	10,849,458
未収還付法人税等	144,593	—
為替予約	1,861,301	690,535
その他	648,211	844,874
流動資産合計	30,659,781	30,789,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,210,782	19,793,048
減価償却累計額	△9,722,263	△10,042,840
建物及び構築物（純額）	8,488,518	9,750,207
機械装置及び運搬具	1,142,608	1,378,390
減価償却累計額	△689,682	△792,658
機械装置及び運搬具（純額）	452,925	585,732
土地	1,918,400	1,918,400
建設仮勘定	1,703,085	32,763
その他	3,789,656	3,482,168
減価償却累計額	△2,776,969	△2,593,842
その他（純額）	1,012,686	888,325
有形固定資産合計	13,575,617	13,175,430
無形固定資産		
その他	273,967	245,449
無形固定資産合計	273,967	245,449
投資その他の資産		
投資有価証券	940,299	966,468
繰延税金資産	670,021	1,026,750
差入保証金	6,692,604	6,765,279
その他	67,900	70,039
貸倒引当金	△41,129	△41,129
投資その他の資産合計	8,329,697	8,787,408
固定資産合計	22,179,282	22,208,288
資産合計	52,839,064	52,997,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当連結会計年度 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	359,638	629,689
未払法人税等	1,030,425	987,197
ポイント引当金	86,670	134,704
契約負債	346,316	128,094
資産除去債務	23,024	30,148
未払費用	2,466,880	2,563,568
その他	824,990	745,126
流動負債合計	5,137,946	5,218,529
固定負債		
退職給付に係る負債	1,327,829	1,253,424
資産除去債務	1,555,031	1,802,582
繰延税金負債	5,544	3,084
その他	12,990	12,990
固定負債合計	2,901,395	3,072,081
負債合計	8,039,342	8,290,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,946,166	3,950,696
利益剰余金	36,292,171	38,492,111
自己株式	△39,792	△28,619
株主資本合計	43,765,345	45,980,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	223,699	238,040
繰延ヘッジ損益	1,293,604	477,384
為替換算調整勘定	△523,329	△2,132,756
退職給付に係る調整累計額	40,401	143,295
その他の包括利益累計額合計	1,034,376	△1,274,035
純資産合計	44,799,722	44,706,952
負債純資産合計	52,839,064	52,997,563

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
売上高	56,571,603	57,701,337
売上原価	22,481,144	23,550,676
売上総利益	34,090,458	34,150,660
販売費及び一般管理費	27,119,635	28,244,540
営業利益	6,970,823	5,906,119
営業外収益		
受取利息	26,932	27,744
受取配当金	4,470	4,859
為替差益	143,441	6,456
受取地代家賃	14,384	14,988
受取補償金	15,155	17,785
助成金収入	2,126	1,331
金銭の信託運用益	93,919	—
工事負担金等受入額	1,015	—
雑収入	51,818	24,833
営業外収益合計	353,264	98,000
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	41,129	—
金銭の信託運用損	—	11,351
雑損失	1,224	3,459
営業外費用合計	42,354	14,811
経常利益	7,281,734	5,989,308
特別利益		
その他	29	1,166
特別利益合計	29	1,166
特別損失		
固定資産除却損	93,481	103,649
減損損失	55,232	224,391
その他	6,995	38
特別損失合計	155,709	328,079
税金等調整前当期純利益	7,126,054	5,662,395
法人税、住民税及び事業税	1,956,726	1,993,937
法人税等調整額	292,412	△64,298
法人税等合計	2,249,138	1,929,639
当期純利益	4,876,915	3,732,755
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,876,915	3,732,755

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
当期純利益	4,876,915	3,732,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173,727	14,340
繰延ヘッジ損益	196,269	△816,219
為替換算調整勘定	312,871	△1,609,427
退職給付に係る調整額	18,068	102,894
その他の包括利益合計	700,936	△2,308,412
包括利益	5,577,851	1,424,343
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,577,851	1,424,343
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,566,800	3,946,119	32,947,835	△39,270	40,421,483
当期変動額					
剰余金の配当			△1,532,578		△1,532,578
親会社株主に帰属する当期純利益			4,876,915		4,876,915
自己株式の取得				△624	△624
自己株式の処分		47		101	149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	47	3,344,336	△522	3,343,861
当期末残高	3,566,800	3,946,166	36,292,171	△39,792	43,765,345

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	49,972	1,097,334	△836,200	22,333	333,440	40,754,924
当期変動額						
剰余金の配当					—	△1,532,578
親会社株主に帰属する当期純利益					—	4,876,915
自己株式の取得					—	△624
自己株式の処分					—	149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	173,727	196,269	312,871	18,068	700,936	700,936
当期変動額合計	173,727	196,269	312,871	18,068	700,936	4,044,797
当期末残高	223,699	1,293,604	△523,329	40,401	1,034,376	44,799,722

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,566,800	3,946,166	36,292,171	△39,792	43,765,345
当期変動額					
剰余金の配当			△1,532,816		△1,532,816
親会社株主に帰属する当期純利益			3,732,755		3,732,755
自己株式の取得				△166	△166
自己株式の処分		4,530		11,340	15,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	4,530	2,199,939	11,173	2,215,643
当期末残高	3,566,800	3,950,696	38,492,111	△28,619	45,980,988

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	223,699	1,293,604	△523,329	40,401	1,034,376	44,799,722
当期変動額						
剰余金の配当					—	△1,532,816
親会社株主に帰属する当期純利益					—	3,732,755
自己株式の取得					—	△166
自己株式の処分					—	15,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,340	△816,219	△1,609,427	102,894	△2,308,412	△2,308,412
当期変動額合計	14,340	△816,219	△1,609,427	102,894	△2,308,412	△92,769
当期末残高	238,040	477,384	△2,132,756	143,295	△1,274,035	44,706,952

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	7,126,054	5,662,395
減価償却費	1,170,104	1,336,692
減損損失	55,232	224,391
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	72,052	87,216
貸倒引当金の増減額(△は減少)	41,129	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	17,563	48,033
契約負債の増減額(△は減少)	△532,490	△218,221
受取利息及び受取配当金	△31,402	△32,604
固定資産除却損	93,481	103,649
売上債権の増減額(△は増加)	△906	△662,924
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,594,647	△220,307
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,124	269,595
未払金の増減額(△は減少)	42,389	31,933
未払費用の増減額(△は減少)	△157,885	154,675
未収消費税等の増減額(△は増加)	△33,051	△17,097
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94,701	△119,213
その他	△260,579	188,831
小計	4,830,218	6,837,045
利息及び配当金の受取額	31,402	32,604
法人税等の支払額	△2,727,788	△1,950,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,133,832	4,918,898
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,033,097	△1,991,489
無形固定資産の取得による支出	△55,860	△37,763
投資有価証券の取得による支出	△988	△1,041
差入保証金の差入による支出	△321,977	△184,556
差入保証金の回収による収入	149,039	102,509
資産除去債務の履行による支出	△88,166	△91,751
その他	147,137	△60,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,203,912	△2,264,395
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△613	△163
自己株式の処分による収入	151	—
配当金の支払額	△1,532,578	△1,532,816
その他	△12	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,533,053	△1,532,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	106,898	△628,628
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,496,235	492,891
現金及び現金同等物の期首残高	16,359,278	12,863,043
現金及び現金同等物の期末残高	12,863,043	13,355,934

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社における原材料及び貯蔵品(生地等)の評価方法は、従来、先入先出法による原価法を採用していましたが、当連結会計年度から総平均法による原価法に変更しております。

この変更は、当該原材料等の金額的重要性が増してきたこと、業績管理の適正化等を目的とした新システムが当連結会計年度において稼働したことに伴い、先入先出法による計算より総平均法による単価計算を行うことが、原材料価格の変動に対応したより適切な棚卸資産の評価及び期間損益計算を行うことができると判断したことによるものであります。

なお、過去の会計年度について、総平均法による単価計算を行うことが実務上不可能であり、当期の期首時点における遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、過年度遡及は行わず、前連結会計年度の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり総平均法による原価法を採用しております。

当該会計方針の変更による影響額は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報を入手したことに伴い、見積りの変更を行いました。

当該見積りの変更による資産除去債務の総額は、工事費や物価上昇等の影響により196,679千円増加し、変更前の残高に加算しております。また、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ61,184千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に婦人衣料及び服飾雑貨の企画、製造並びに販売を行っており、当社が衣料品及び服飾品の企画を、株式会社ハニーズ（連結子会社）が販売を担当しております。

また、Honeys Garment Industry Limited（連結子会社）は、海外（ミャンマー）において婦人衣料の製造を行っております。したがって、当社グループは、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「ミャンマー」の2つを報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」の記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	日本	ミャンマー	計
売上高			
外部顧客への売上高	56,571,603	—	56,571,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,784,749	1,784,749
計	56,571,603	1,784,749	58,356,353
セグメント利益又は損失(△)	7,162,139	△367,688	6,794,450
セグメント資産	52,618,894	4,443,385	57,062,279
その他の項目			
減価償却費	1,039,357	130,747	1,170,104
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,248,873	1,670,057	2,918,931

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	日本	ミャンマー	計
売上高			
外部顧客への売上高	57,701,337	—	57,701,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,770,924	1,770,924
計	57,701,337	1,770,924	59,472,262
セグメント利益又は損失(△)	6,037,646	△54,059	5,983,586
セグメント資産	54,445,950	3,288,300	57,734,251
その他の項目			
減価償却費	1,214,296	122,395	1,336,692
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,314,795	519,849	3,834,644

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,794,450	5,983,586
セグメント間取引消去	176,373	△77,466
連結財務諸表の営業利益	6,970,823	5,906,119

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	57,062,279	57,734,251
セグメント間取引消去	△4,223,215	△4,736,687
連結財務諸表の資産合計	52,839,064	52,997,563

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,170,104	1,336,692	—	—	1,170,104	1,336,692
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,918,931	3,834,644	—	—	2,918,931	3,834,644

## 5 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

当連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「ミャンマー」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	ミャンマー	合計
10,720,888	2,854,729	13,575,617

## 3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	ミャンマー	合計
11,328,161	1,847,268	13,175,430

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	日本	ミャンマー	合計
減損損失	55,232	—	55,232

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	日本	ミャンマー	合計
減損損失	224,391	—	224,391

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
1株当たり純資産額	1,607円74銭	1,603円84銭
1株当たり当期純利益	175円01銭	133円92銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,876,915	3,732,755
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,876,915	3,732,755
普通株式の期中平均株式数(株)	27,864,979	27,871,980

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2024年5月31日)	当連結会計年度末 (2025年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	44,799,722	44,706,952
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	44,799,722	44,706,952
普通株式の発行済株式数(株)	27,900,000	27,900,000
普通株式の自己株式数(株)	35,119	25,223
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	27,864,881	27,874,777

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 販売の状況

## 品目別販売実績

品目		前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)		当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)		
		売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	前期比(%)
商 品 売 上	トップス	30,691,815	54.3	31,093,643	53.9	101.3
	ボトムス	10,482,030	18.5	10,911,843	18.9	104.1
	外衣	8,623,436	15.3	8,301,125	14.4	96.3
	雑貨	6,754,908	11.9	7,377,520	12.8	109.2
	小計	56,552,191	100.0	57,684,132	100.0	102.0
その他の収益		19,412	0.0	17,205	0.0	88.6
合計		56,571,603	100.0	57,701,337	100.0	102.0

(注) その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。